

浅間山公園マネジメントプラン(案)

令和 8 (2026) 年 1 月
東京都 建設局

目次

はじめに

I 公園の概要	2
1 都市計画の概要	
2 開園の概要	
3 主な公園施設	
4 成り立ち・基本的な性格	
5 周辺の土地利用・自然環境	
6 利用概況及び特色	
II 目指す姿及び重点取組、ゾーン別基本方針	4
1 目指す姿及び重点取組	
2 ゾーン別基本方針	
III 図面・写真	7
現況平面図	
周辺土地利用図(空中写真)	
周辺土地利用図(地図)	
園内の写真	
IV 資料編	10
公園の沿革	
マネジメントプラン策定履歴	
利用状況等データ	
主な催し物	
主な活動団体	
関連する行政計画等	

はじめに

公園別マネジメントプランは、都立公園全体の整備・管理運営の指針として、東京が目指す公園づくりの方向性を示すパークマネジメントマスタープランに基づき、公園ごとの性格・役割を踏まえて各都立公園の10年程度の目標や維持管理・運営管理等の取組方針を定めたものです。

改定にあたっては、今後新たな10年間を見据えた公園づくりを目指して、「公園別マネジメントプラン（共通編）」（以下、「共通編」という。）と「公園別マネジメントプラン（個別公園編）」（以下、「個別公園編」という。）の2編構成として取りまとめています。

共通編は、全ての都立公園の質を向上させるために取り組む基本事項を明らかにし、維持管理・運営管理・公園整備の3つの視点から実施すべき取組内容を示すとともに、全ての視点に共通する4つの事項（戦略的広報、協働、リサーチとマーケティング、デジタルトランスフォーメーション）における取組内容を定めています。

個別公園編は、それぞれの公園の特性を生かした多様な公園を創出するため、公園ごとに目指す姿や重点的な取組などを定めています。

共通編と個別公園編を踏まえたマネジメントを推進することにより、都立公園全体の機能や価値を向上させていきます。

共通編は別冊となっておりますので、本冊と合わせてご参照ください。

マスタープランが示す目標の実現に向け、施策を効果的に推進していくため、取組の進捗状況の確認と検証を行いながら、適切な進行管理を行っていきます。また、取組の進捗や社会状況の変化に応じて、取組を弾力的に進めていくことが必要であり、取組の内容や目標を発展的に見直していきます。

I 公園の概要

1 都市計画の概要

名 称 府中都市計画公園第7・5・2号浅間山公園
位 置 府中市若松町五丁目及び浅間町四丁目各地内
面 積 17.50ha
種 別 特殊公園・風致
決定告示 (当初) 昭和36年3月2日 建設省告示第240号
(最終) 昭和52年12月21日 東京都告示第1126号

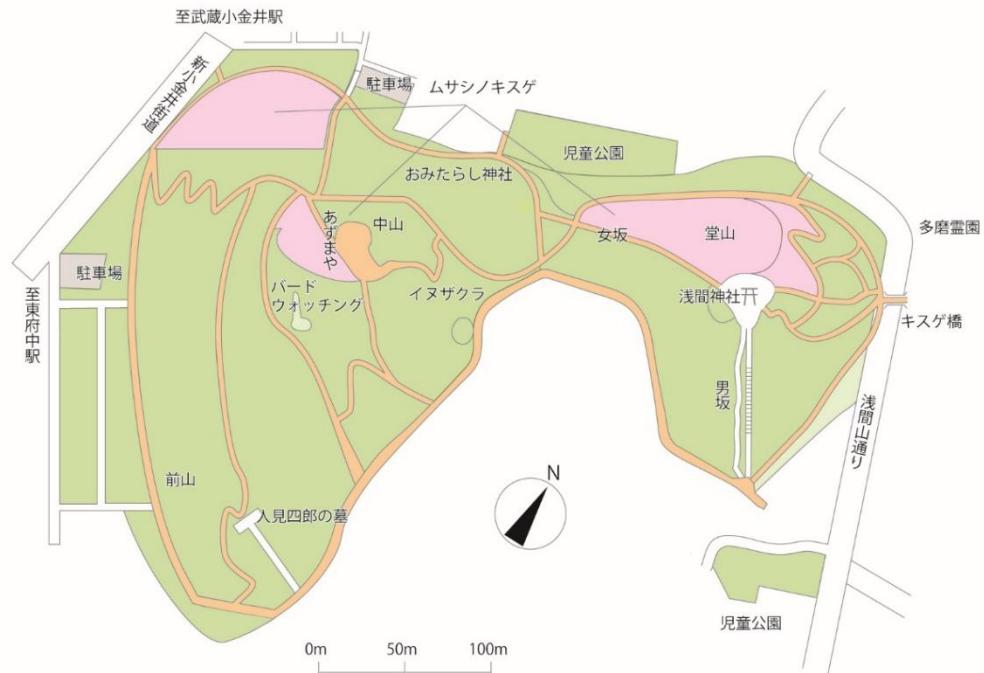
2 開園の概要

名 称 都立浅間山公園（せんげんやまこうえん）
開園日 昭和45年6月1日
開園面積 88,829.87 m²（令和7年11月1日現在）
公園種別 風致公園
所在地 府中市浅間町4丁目、若松町5丁目
アクセス JR中央線「武藏小金井」から京王バス（東府中行き）「浅間山公園」、又は（府中駅行き）「浅間山」、西武多摩川線「多磨」、京王線「東府中」

3 主な公園施設

前山、中山、堂山、児童公園、きすげ橋

園内マップ



4 成り立ち・基本的な性格

本公園は北多摩南部地域に位置しており、武蔵野の平坦地には珍しい標高 80m の浅間山がある。この地域には本公園のほか武蔵野公園、府中の森公園、神代植物公園、野川公園、武蔵野の森公園、多磨霊園などがあり、多彩な緑が連携した一大オープンスペースを形成している。

公園全体はクヌギ、コナラ等の雑木林で覆われ、武蔵野の面影を残しており、昆虫や野鳥などの生息場所として機能している。また、山野草が豊富にみられ、浅間山固有のムサシノキスゲが自生するほか、希少植物も多く、自然保護の観点からも重要な役割を担っている。

5 周辺の土地利用・自然環境

(1)周辺の土地利用

- ・JR 中央線武蔵小金井駅から京王バス府中行きで「浅間町」下車、徒歩 3 分、あるいは西武多摩川線「多磨」駅下車、徒歩 15 分。
- ・本公園の周辺には多くの公園・緑地がある。公園に隣接して東側に多磨霊園があり、その隣には武蔵野公園がある。西方向には府中の森公園がある。この他にも、府中中央公園、府中公園、平和の森公園等がある。ほとんどは施設系の公園であり、浅間山公園のように武蔵野の雑木林をそのままの形態で保全したものは少なく、浅間山公園は、面的な自然環境の保全として非常に重要な緑である。

(2)自然環境

- ・府中市付近の地形を大別すると、武蔵野段丘、立川段丘、青柳段丘の三段の階段状地形に区分されるが、これらはいずれも古い多摩川の営みによって形成されたもので、当時の運搬物である砂礫層によって構成されており、その上部には火山灰が堆積してできた関東ロームが重

なっている。

- ・浅間山は南から北へ前山、中山、浅間山（堂山）の三つの頂をもつ山で、もっとも高いのは浅間神社があるところで、標高約 80m である。
- ・地質は、多摩丘陵を構成する三浦層群から成り、周囲の段丘地質とは全く異なっているところから、既に武蔵野段丘や立川段丘が形成される以前に古多摩川やその他の河川によって周辺を削り取られ、孤立丘となって残存した侵食丘であろうといわれている。
- ・山域全体はクヌギ、コナラ、エノキ、ヤマザクラ等の雑木林（二次林）でおおわれ、武蔵野の面影を良く伝えている。
- ・麓から頂上までの高低差が約 30m あり、周辺にはさえぎるものがないため、山頂からの景色はすばらしく、多摩丘陵を一望のもとに見渡せる。浅間山の緑は、周辺の市街地からも景観的に貴重である。
- ・ムサシノキスゲの自生地となっている。

6 利用概況及び特色

地域の利用者が日中の散歩に来園している。交通手段は徒歩、自転車がほぼ同程度、それに自家用車となっている。11月、1月には浅間山からのダイヤモンド富士が望まれて、富士見百景の一つとされる。

①雑木林

コナラ、クヌギ、シデなどを主体とした、武蔵野の面影を残す雑木林には、この公園にしか自生していないムサシノキスゲをはじめ豊富な山野草が生育するほか、野鳥や昆虫の貴重な生息場所となっている。

II 目指す姿及び重点取組、ゾーン別基本方針

1. 目指す姿及び重点取組

目指す姿

武蔵野の平坦地では珍しい小高い丘の特性を生かし、魅力を高めるほか、自然環境の保全等の取組を進め、豊かな自然を感じられる、生物多様性の保全モデルとなる公園としていく

この目標を達成するため、本公園では次のことについて重点的に取組んで行く。

なお、各取組の具体的な内容等については、事業計画等の作成時にそれぞれ設定し、マネジメントサイクルのなかで見直しを行っていく。また、各項目及び施策名はパークマネジメントマスター・プランと連動している。

重点取組

(1)公園整備による緑の保全

【施策1 緑と環境をまもる】

- 雑木林管理等のボランティアや樹木診断の体験、発生材を活用した工作イベント等を行うこども向けのグリーンスクールなど、幅広い年代の都民に公園の緑を知り、ふれあう機会を提供し、緑の創出や保全への意識を高める取組を推進します。

(2) 生物多様性の保全と回復

【施策1 緑と環境をまもる】

- 多様な生物の生息空間やエコロジカルネットワークの拠点として、樹林や水辺等について生物の生息環境の整備を行い、モニタリング等を継続しながら順応的な管理を実施します。公園の特色に応じた希少生物種の保全や特定外来生物対策、生物情報の蓄積などに取り組みます。
- 観察会等の自然と親しみ、ふれあうイベントの開催や子どものための環境教育プログラムの実施等を通じて、生物多様性の保全に向けて理解を深める取組を推進します。

(3) 特色あるイベント等の充実

【施策 6 にぎわいをふやす】

- 公園の魅力に光を当てる、特色あるイベントを充実し、賑わいを創出します。
- キスゲフェスティバルの開催等、地域全体の魅力向上や活性化を視野に、自治体や近隣の文化施設、地元企業等多様な主体と連携した取組を進めます。

(4) 管理運営を通じた交流の促進

【施策 8 つながりをふやす】

- 市民団体との協働の取組により、さまざまなイベントを行い、人びとに自然とふれあう楽しみを提供します。

2. ゾーン別基本方針

ゾーン別基本方針図 浅間山公園



凡 例

記 号	名 称
○	A 多目的広場ゾーン
△	B 遊戯広場ゾーン
○	E 休息・散策ゾーン
○	K 環境共生・保全ゾーン
○	M 駐車場ゾーン
—	0 外縁部ゾーン

この地図は、国土地理院の承認(平29簡公第444号)を得て作成した東京都 地形図 (S=1:2,500)を使用(7都市基交第965号)して作成したものである。転載複製を禁ずる。

■ゾーン別基本方針

管理運営や改修整備等を重点的・効率的に実施していくために、園内の各ゾーンについて現況等も踏まえ機能・目的・自然的環境等により類型化し、ゾーン毎の基本方針を定める。

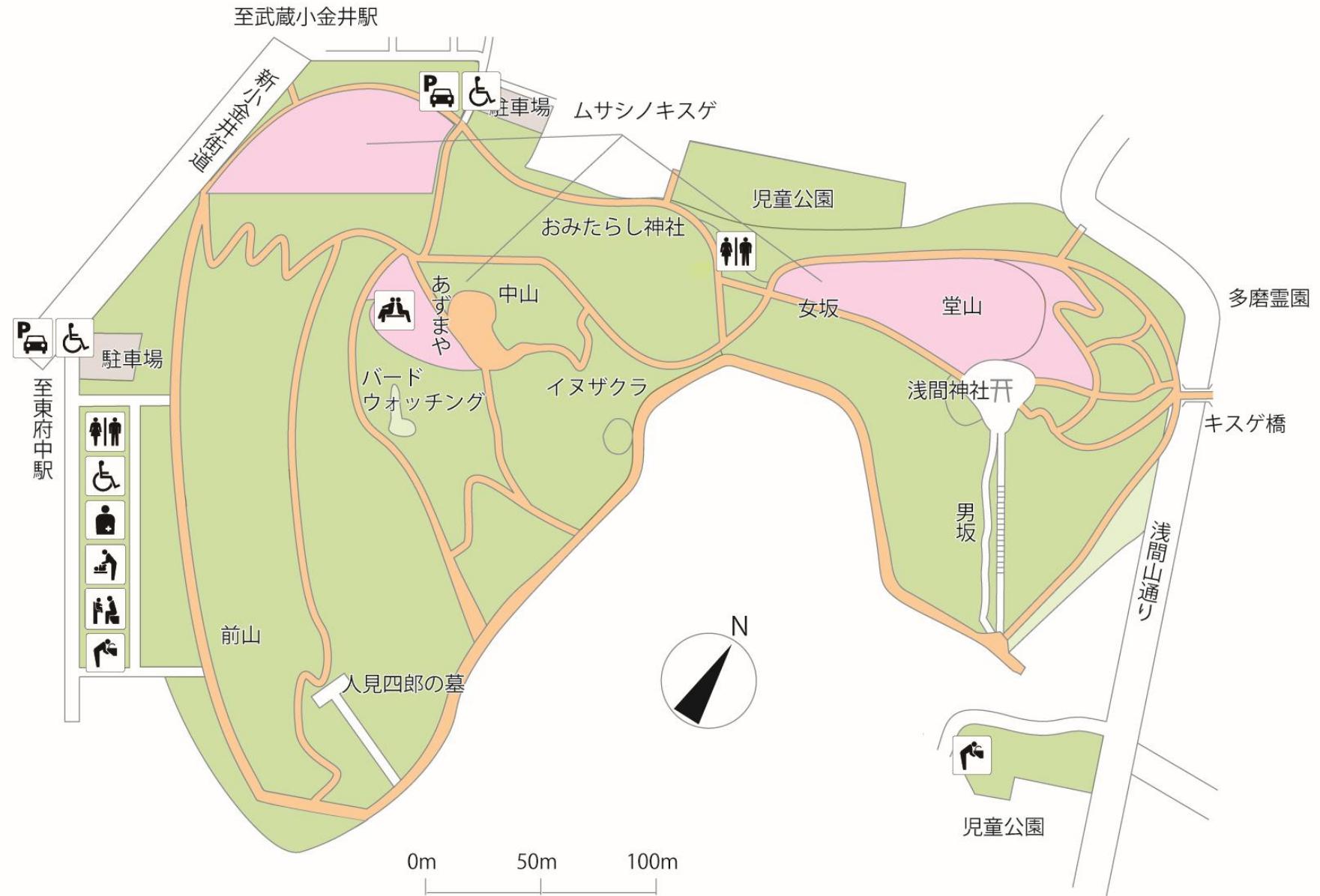
なお、ゾーン別基本方針は、原則として開園区域を対象に定めるものとし、新規開園区域があった場合は整備内容等を踏まえ、必要に応じ追記等を行う。

記号	区分	基本方針
A	多目的広場ゾーン	<ul style="list-style-type: none"> 草地広場のあるゾーン 日常的な憩い・レクリエーションなどの利用に対応していく。
B	遊戯広場ゾーン	<ul style="list-style-type: none"> 児童公園のあるゾーン 安全に遊具遊びができるよう対応していく。
E	休息・散策ゾーン	<ul style="list-style-type: none"> 休養施設、園路、遊び場等のあるゾーン 周辺の住宅地に配慮しながら、休息や散策、遊びの場としての利用に対応していく。
K	環境共生・保全ゾーン	<ul style="list-style-type: none"> 浅間山本体 雑木林の中を散策し、四季折々の自然を楽しむとともに、雑木林を主体に昆虫、野鳥、山野草などの生息・生育環境を保全する場として対応していく。
M	駐車場ゾーン	<ul style="list-style-type: none"> 駐車場のあるゾーン（障害者用） 案内機能の充実により、車両による来園者を円滑に誘導するほか、歩行者の安全確保に努める。

記号	区分	基本方針
O	外縁部ゾーン	<ul style="list-style-type: none"> 民有地等や公道に接する公園外縁部 本公園の外縁部で、新小金井街道などの幹線道路に面する所では、道路植栽等と一体的に良好な沿道景観の形成を図り、区画道路を介して住宅地等に面する所では、見通しを確保し、住宅地等に対する良好な景観の提供を図っていく。住宅地等と接する箇所では景観面のほか、落ち葉や落枝、越流水などの直接的な悪影響等を及ぼさないよう対応していく。

III 図面・写真

【現況平面図】

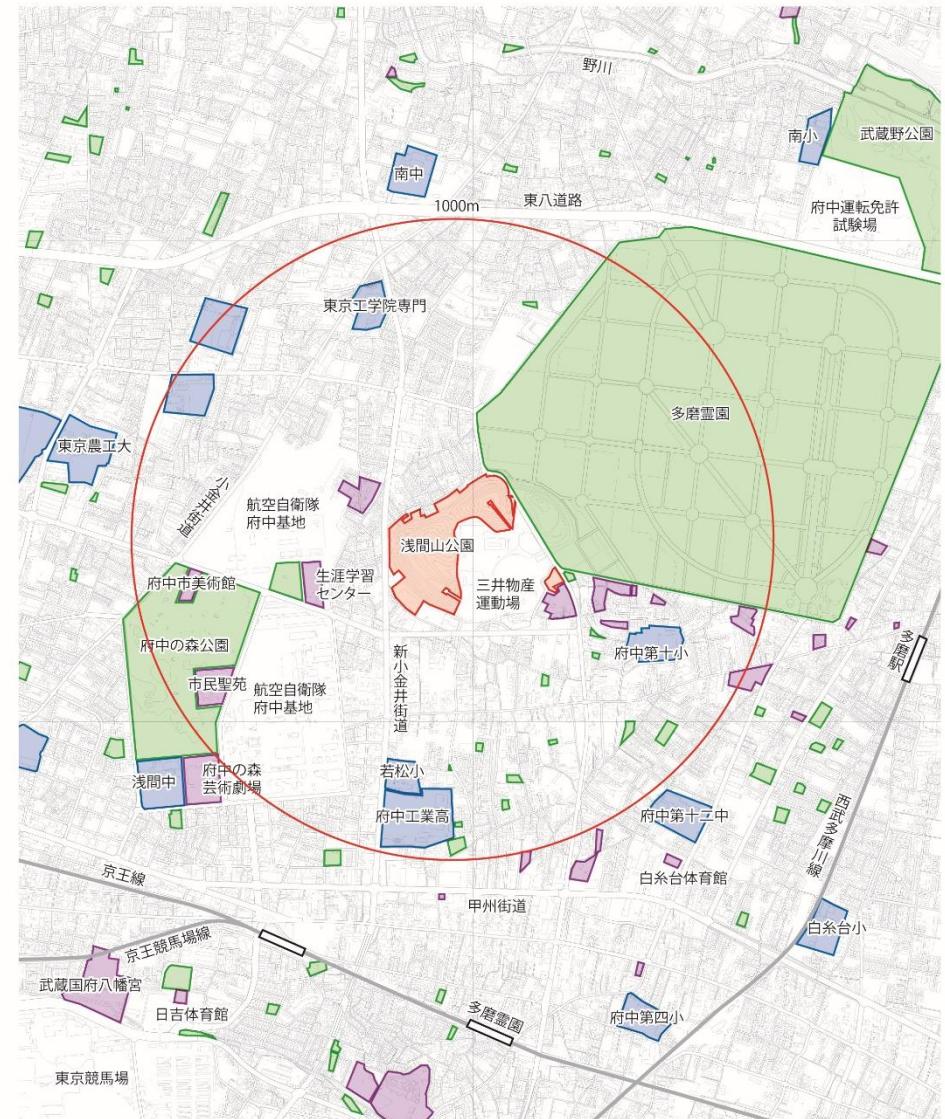


周辺土地利用図(空中写真)



——：開園区域
——：都市計画決定区域

周辺土地利用図(地図)



この地図は、国土地理院長の承認(平29閏公第444号)を得て作成した東京都 地形図($S=1:2,500$)を使用(7都市基交第965号)して作成したものである。無断複製を禁ずる。

■:公園緑地 ■:学校
■:特徴的な建物(神社仏閣など)
■:開園区域
---:高速道路
—:鉄道

A scale bar and a north arrow are positioned at the top of the page. The scale bar is a horizontal line with tick marks and numerical labels: '0' on the left, '500' in the middle, and '1000M' on the right. A north arrow is located to the right of the scale bar, consisting of a circle with a vertical line and the letter 'N' at the top.

園内の写真



ムサシノキスゲ群生地



浅間神社参道



浅間神社からの風景



前山西広場



中山の四阿



キスゲ橋

IV 資料編

■公園の沿革

昭和 36 年 3 月	建設省告示第 240 号により、都市計画決定
昭和 45 年 6 月	6.4ha を開園
昭和 48 年	西側の一角にパーゴラ、ブランコ、砂場、外灯等を児童公園として整備
昭和 52 年 12 月	東京都告示第 1126 号により、都市計画変更 (17.5ha)
昭和 56 年 6 月	0.5ha を追加開園
昭和 57 年度	「浅間山自然保護会」結成、0.3ha を追加開園
昭和 59 年度	ムサシノキスゲの保護増殖を図る自然環境保全管理調査開始
昭和 60 年度	便所、園路・階段、保護管理柵等の整備
平成元年 6 月	多磨霊園と結ぶ人道橋「きすげ橋」を完成
平成 8 年 6 月	0.04ha を追加開園
平成 9 年 6 月	0.2ha を追加開園
平成 11 年 6 月	0.1ha を追加開園
平成 12 年 6 月	0.4ha を追加開園
平成 16 年 6 月	0.1ha を追加開園
平成 23 年 9 月	西側平坦部に池のある園地を整備
平成 28 年 6 月	0.5ha を追加開園
令和 2 年 6 月	0.01ha を追加開園
令和 6 年 12 月	0.1ha を追加開園

■マネジメントプラン策定履歴

平成 16 年 8 月 パークマネジメントマスタートップラン策定
平成 18 年 12 月 浅間山公園マネジメントプラン策定
平成 22 年 3 月 浅間山公園マネジメントプラン改定
平成 27 年 3 月 パークマネジメントマスタートップラン改定
浅間山公園マネジメントプラン改定
令和 4 年 3 月 浅間山公園マネジメントプラン改定
令和 6 年 3 月 パークマネジメントマスタートップラン改定
令和 8 年 3 月 浅間山公園マネジメントプラン改定

■利用状況等データ

1)年間利用者数の推移

	6 年度	5 年度	4 年度	3 年度	2 年度
年間総計 (人)	139,178	158,468	176,431	169,930	227,333

2)月別利用者数の推移

6 年度	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月
年間総数 (人)	12,976	25,672	7,323	5,454	3,323	6,545
	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月
	7,062	8,464	18,032	18,473	14,378	9,358

■主な催し物(令和6年度実施分)

種別	No.	事業名	実施期間	参加人数(人)
イベント	1	キスゲフェスティバル	4月、5月	4,452
	2	冬鳥の観察会	2月	26
	3	森キッズDAY	6月、10月	101
	4	レンジャープログラム	4月、5月	300
	5	マナーアップキャンペーン	6月、12月～2月	—
都民協働	1	浅間山を考える会の開催（パークミーティングの開催）	4月、6月、9月、12月、2月	72
	2	安全管理講習等のボランティアスキルアップ	9月	18
	3	雑木林の手入れ、育成	4月～3月	1,099
	4	産官学民連携による都民協働の取組	4月～3月	347
自主事業	1	森の地図スタンプラリー	9月～1月	1,877
	2	あつたらいいなをみんなでつくる公園プロジェクト	5月、10月	—

■主な活動団体(令和6年度調査)

団体名	活動内容	人数(人)
浅間山自然保護会	自然環境保全作業、イベント運営、樹木調査	45
府中野鳥クラブ（武蔵野公園共）	自然環境保全作業、野鳥調査、野鳥観察会の運営	67
浅間山ウォーキングクラブ（府中の森公園共）	活動休止中	—

■関連する行政計画等

- ・2050 東京戦略（令和 7 年 3 月）
- ・新たな都立公園の整備と管理のあり方について（答申）（令和 5 年 6 月）
- ・都市づくりのグランドデザイン（平成 29 年 9 月）
- ・東京都景観計画（平成 30 年 8 月）
- ・東京都福祉のまちづくり推進計画（令和 6 年 3 月）
- ・緑確保の総合的な方針（改定）（令和 2 年 7 月）
- ・都市計画公園・緑地の整備方針（令和 2 年 7 月）
- ・東京都地域防災計画 震災編（令和 5 年修正）
- ・府中市地域防災計画（令和 6 年修正）